

「人権という普遍的文化」を 築いていくために

「ひびきあい活動」を核とした継続的な取組の充実

優れた取組を継続して行っている「人権文化あふれる学校賞」を受賞した学校の実践事例を紹介します。

多治見市立昭和小学校附属幼稚園

◇ 地域の高齢者の方との交流を通して、思いやりやいたわりの心を育てています。

○ 継続して取り組んでいること

- ・ 年長・年中児が地域の高齢者施設の方と交流する場を設定して、歌の披露やふれあい遊び、手作りのプレゼントを届けています。
- ・ 園だよりや掲示を通して、活動の概要や交流活動の様子、高齢者からの手紙等を保護者とも共有することを通して、園・家庭・地域が連携して取り組んでいます。

○ 取組のすばらしさ

- ・ 高齢者の方から子どもたちへの手紙を書いてもらうことで、活動が双方向になっています。子どもたちが、高齢者の存在や思いに触れることで、年齢や立場の違いを感じ取り、相手を大切にしようとする心が育まれています。



羽島市立桑原学園

◇ 義務教育9年間の取組を通して、互いに尊重し、共に生きる力を育てています。

○ 継続して取り組んでいること

- ・ 学校が培いたい行動力「相手の立場に立って考え、共に認め合い協力する力」を育てるために、「MAKE活動（よさ見つけ）」を異学年で取り組む等、義務教育学校の特色を生かした取り組みを行っています。
- ・ いじめや障がい、外国人、性的マイノリティ等、様々な人権課題について、発達段階に応じた学びの場を計画的に設定し、多様性への理解を深めています。



○ 取組のすばらしさ

- ・ 義務教育9年間を見通した系統的な取組と、仲間のよさを見つけて認め合う活動を長年積み重ねることで、互いを尊重しよりよく生きようとする行動力が育まれています。

揖斐川町立谷汲中学校

◇ 小中合同の取組を通して、誰もが安心してくらせる力を育てています。

○ 継続して取り組んでいること

- ・ 「お互いを大切に、誰もが安心してくらせる谷汲」という小中合同の人権スローガンを基に、三つの行動目標を設定し、児童生徒が自分たちの実態や目指す姿の具現について、共に話し合う場を計画的に位置付けています。
- ・ 中学校独自の取組として、生徒会がアンケートを実施し、自らの言動を振り返ることで、具体的な生活場面における行動改善へとつなげています。



○ 取組のすばらしさ

- ・ 異学年グループでの活動を通して、中学生が小学生をリードする機会を設けることで、相手を思いやる心や行動が生まれ、誰もが安心してくらせる学校の文化が着実に根付いています。

岐阜県立岐阜聾学校

◇ 学部ごとの取組や交流活動を通して、互いを認め、思いやる心を育てています。

○ 継続して取り組んでいること

- ・ 「いいところ見つけ」を行い、日常的に互いを認め合う機会を設けています。
- ・ あいさつ運動や他校・老人ホームとの交流を継続して行い、異年齢による遊びの交流や学校祭での人権コーナーの設置に取り組んでいます。

○ 取組のすばらしさ

- ・ 様々な活動を通して、互いに認め合う雰囲気が広がっています。
- ・ あいさつ運動や交流活動を通して、地域への関心が高まると共にコミュニケーション能力が育まれたことで、つながりが深まっています。
- ・ 異年齢による遊びの交流を通して、尊重し合う姿が増え、支え合いながら安心して活動できる風土が育っています。

